

第 7 回原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 2007年2月20日（火）10：30～10：45

2. 場 所 中央合同庁舎4号館6階共用643会議室

3. 出席者 近藤委員長、田中委員長代理、松田委員、伊藤委員、広瀬委員
内閣府 原子力政策担当室
黒木参事官

4. 議 題

- （1）国際問題懇談会の構成員について
- （2）FNCAコーディネーター会合について
- （3）その他

5. 配付資料

- （1） 国際問題懇談会の構成員について
- （2） アジア原子力協力フォーラム第8回コーディネーター会合開催結果について
- （3） 第4回原子力委員会定例会議議事録
- （4） 第5回原子力委員会定例会議議事録

6. 審議事項

（近藤委員長）おはようございます。それでは、第7回の原子力委員会定例会議を開催させていただきます。

本日の議題は、1つが、国際問題懇談会構成員についてお諮りすること。2つがFNCAコーディネーター会合についての御報告、これは前回の書面の訂正版の紹介ですかね。それから、3つ目がその他でございます。よろしくお願いいたします。

(1) 国際問題懇談会の構成員について

(近藤委員長) それでは、最初の議題、事務局、お願いします。

(黒木参事官) それでは、資料第1号でございますが、国際問題懇談会構成員についてということで、原子力委員会決定の案でございます。昨年4月に国際問題懇談会の設置についてということで同懇談会の設置を決め、現在原子力委員長及び委員5名の先生方で構成されているところでございますが、これにさらに別紙に記載されております専門委員の先生方、京都大学大学院法学研究科の浅田教授、東京大学公共政策大学院客員教授の鈴木教授、それから新潟大学国際センターの田中教授、財団法人核物質管理センターの内藤専務理事を新たに担当の専門委員として同懇談会の構成員に指名するという委員会決定の案でございます。

以上です。

(近藤委員長) ありがとうございます。いかがでございましょうか。

実質的にはここに記載の何人かの先生には有識者として参加していただいているのですが、この際専門委員としてきちんとした方がよかろうということで、そのようにするべく、提案させていただきました。

よろしゅうございますか。

(近藤委員長) それでは、そのようにさせていただきます。ありがとうございます。

(2) アジア原子力協力フォーラム第8回コーディネーター会合開催結果について

(近藤委員長) それでは、次の議題、お願いします。

(黒木参事官) 次の議題はアジア原子力協力フォーラムのFNCAコーディネーター会合についての報告でございます。資料の第2号であります。

前回の定例会におきまして第8回のコーディネーター会合の開催結果ということを御報告したところでございますが、その際事務局の方で少し不手際がございまして、幾つかコメント頂いたものを修正したものでございます。

最初に、右上のクレジットですけれども、前回原子力委員会という名前にしておりましたが、原子力委員会に対してこのコーディネーター会合の結果を報告するという形でございますので、クレジットは事務局及び内閣府の原子力政策担当室という名前で御報告する形をと

らせていただきました。

それから、少しわかりづらかった点を幾つか修正しております。この資料の１ページ目の２のアジアの発展と原子力エネルギーのところでございますが、２行目のところで、２００７年から今回新たに設置された「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」というところで２年間協力を進めることになったわけでございますが、その下から３行目ではありますが、人材養成や原子力広報などについても実施したらどうかという指摘も会合ではございましたが、それと合わせて、この２点については既存のプロジェクトも平行して進んでいるところでございますので、具体的にはオーストラリア、インドネシアから指摘があった既存のプロジェクトの活用も考慮すべきだということを追加させていただいております。

それから、ちょっとページを開いていただきまして２ページ目以降ですが。実は事前のコーディネーター会合の開催についてということで御紹介いたしましたように、今回８分野１２プロジェクトのうち２つのプロジェクトが２００６年度に終了することになっております。この終了プロジェクトについてはきちっと評価をして、その評価結果を踏まえて今後どうするかということを検討することになっておりますというふうに御説明したところでありますが。前回の報告では少しその辺が、あまり明確になっていなかったものですから、内容がはっきりわかるように記載しています。

具体的には２ページ目の（２）の②にバイオ肥料につきましては２００６年度の終了プロジェクトになっております。これは土壌放射線を当てて滅菌をしたうえで根粒菌や菌根菌などの微生物をうまく調整して作物の生産性を高めるという形で共同研究等を行ってきたものでありますが、２００６年度で終了してございます。

幾つかのその評価項目について６つの研究テーマについて報告をされ、特に経済性など当初の目的の達成を確認したということであります。今後成果をエンドユーザーに使用してもらうためのニーズをクリアにする必要があるということが指摘されたということでございます。

それから、４ページ目でございますが、もう１つ４ページ目の（８）の研究炉利用の①のＴｃ－９９ｍジェネレーター、これも２００６年度に終了したプロジェクトでございます。これは病気の診断にラジオアイソトープという医療品としてテクネチウムジェネレーターを普及させるという目的でプロジェクトを進めてきたわけございまして、２００６年度で研究フェーズを終了しております。

この結果、Tc-99mをジルコニウム化合物と結合させることで安定の形で核医学診断に使用できるレベルの高品質で低コストのTc-99mジェネレーターが開発されて、インドネシアにおいて実証試験が行われ、定常的な製造に向けてメンバー国へPZC法を技術移転する段階にまで至ってきているということでございます。PZC法の商業化計画についてはベトナム、マレーシア等で進めているというところまで確認をしたところでございます。

これらのプロジェクトを今後どういうふうに進めるかにつきましては、次の4ページの一番下に運営上の課題の中で終了したプロジェクトの取扱いについてというところでございますが、2つのプロジェクトをどうするかということでもあります。

最初に（A）のバイオ肥料であります。今までのバイオ肥料については一通り研究を終了し、今後新たに持続可能な農業のための新多機能バイオ肥料プロジェクトが提案され承認されております。これは放射線を照射することによるいろいろな菌の調整、これをさらにうまく利用して農業生産を高めるための菌の土壌の環境状態をうまく調整することによってより農業生産性が高い形での利用を目指そうというものであります。

参加国のニーズに応えるために農業関係者と協力し慎重に評価しつつ進めるべきとしたとともに、農業関係者をプロジェクトリーダーに選ぶことも検討する必要があるという結論でございました。

それから、（B）のTc-99mプロジェクト。これは成功裏にプロジェクトは終了したということで、プロジェクト自身は終了したわけですが、フォローアップとしてマレーシア等に応用化を促進するための専門家派遣を行いたいという合意と。下から3行目「さらに」のところでございますが、Tc-99mの親物質でございますMo-99の安定供給、現在インドネシアが行っておるところですが、バックアップのためにその他の国での生産について検討を行うと確認されたということでございます。

少し前回指摘を受けた点を中心に御紹介させていただきました。

（近藤委員長）ありがとうございました。

何かご意見ございましょうか。松田委員。

（松田委員）今年も閣僚級会議が開かれることになっていると理解するのですが、そのテーマははいつ頃わかってくるんですか。

（近藤委員長）どうぞ。

（黒木参事官）閣僚級会合は毎年秋に開催されることになってまして、今度は日本において、まだ何月かというのははっきり決まってはおりませんが、今年の秋に開催される予定になっ

ております。

テーマにつきましては、従来からまず通常ではF N C Aがどのような活動をしてきたかという全体像を報告するとともに、今後どういう協力を行うかということを高いレベルで議論していただくという形で取り扱われております。

次回につきましては、今まで検討したその原子力発電についての協力、特にコーディネーター会合でも議論があったわけですが、環境分野についてどういうことが言えるかなども含めた形で大臣級会合で今後検討しようという方向で動いております。

具体的なテーマの決定はもう少し先になってから関係国で決めていくというそういう手順になっております。

(近藤委員長) どうぞ。

(松田委員) 原子力の推進ということで各国が原子力に対して積極的な動きを見せているんですが、原子力を利用しますと必ず廃棄物の問題が出てまいります。そこで、閣僚級会議では廃棄物の問題もセットにされ、日本が持っているいろいろな状況とか取組とか現場の見学とか、そういうことが盛り込まれるべきでなければいいのではないかと考えます。

(近藤委員長) はい、御意見、ありがとうございました。今後の検討の際に、参考にさせていただければと思います。

ほかに。

では、この報告については資料2号で御了承いただくということでよろしゅうございますか。

(近藤委員長) はい、ありがとうございます。

(3) その他

(近藤委員長) それでは、他の議題、その他議題ですか。何か。

(黒木参事官) その他議題につきましては特にございませんが、前回の公開フォーラムにつきましては内容を御了承いただいたということでプレス等に公開フォーラムの開催、関西圏及び東京圏で開催するということを発表させていただきました。

(近藤委員長) はい。

委員の方から何かございますか。ありませんか。それでは、今日はこれで終わります。

どうもありがとうございました。